

ユニー・ファミリーマートホールディングス 株式会社



2019年2月期 第2四半期決算説明会

2018年10月11日

—注意事項—

本資料の記述には、当社の将来の業績等に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。実際の業績等は、経済の動向、当社を取り巻く事業環境等の様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

2018年度上期決算概要 通期見通し

(単位：億円、億円未満切り捨て)	2017年度 上期	2018年度 上期		
	実績	実績	前年同期差	主な増減要因
営業収益 （HD及び連結調整は省略）	6,336	6,418	82	(101.3%)
CVS事業	2,936	2,741	▲ 195	不採算店舗の閉鎖に伴う店舗数の減少
GMS事業	3,412	3,708	295	カネ美食品の子会社化
事業利益 （HD及び連結調整は省略）	419	498	79	(118.9%)
CVS事業	291	358	66	ブランド転換店の利益増、商品力強化による差益率改善
GMS事業	129	147	17	改装効果、カード会員向け販促企画が貢献
親会社所有者帰属利益	223	303	80	(135.8%)
CVS事業	124	197	73	事業利益の増加等
GMS事業	95	80	▲ 14	ユニー株式40%譲渡による前年差影響（▲48）
HD及び連結調整	3	25	21	ユニー香港の売却影響（27）

事業利益、親会社所有者帰属利益ともに前年同期実績を超過

CVS事業 : ブランド転換店の利益増、商品力強化による差益率改善
GMS事業 : 改装効果、カード会員向け販促企画が貢献し既存店好調
HD及び連結調整 : ユニー香港の売却益の計上

		2017年度 通期	2018年度 通期	
(単位：億円、億円未満切り捨て)		実績	計画	前期差
営業収益 (HD及び連結調整は省略)		12,753	12,702	▲ 51
	CVS事業	5,608	5,205	▲ 403
	GMS事業	7,187	7,544	356
事業利益 (HD及び連結調整は省略)		662	773	110
	CVS事業	429	510	80
	GMS事業	235	271	35
親会社所有者帰属利益		336	400	63
	CVS事業	▲12	300	312
	GMS事業	177	※ 96	▲81
	HD及び連結調整	172	4	▲ 168

※ GMS事業における非支配株主持分利益は▲62億円

**既存店の質の向上に資する戦略什器やシステム機器の一部前倒し導入を行う為
現時点で通期計画は据え置き**

店舗基盤の強化

● ブランド統合

- 11月末迄に約5,000店の統合が完遂



＜転換後＞ 転換累計**4,746**店

(日商) **509**千円 (転換前対比) **110%**

(客数) **825**人 (転換前対比) **112%**

- 転換2年目**2,350**店も好調に推移 (日商伸び率/上期) **102%**

● 高質店の出店

- 新店日商は前年日商**530**千円を大幅超過

B & S 出店数
176店
新規出店数
55店



(前年同期差)
+47千円



商品力の強化

● 中食構造改革による売上及び差益増

- ・ 『焼きとり』『お母さん食堂』の品揃え強化及び売上貢献
- ・ おいしさ与健康ニーズを両立した商品を開発
(全粒粉使用商品等)
- ・ 安全、安心の取り組み強化
(合成着色料、保存料不使用の徹底)



● コーヒー刷新

- ・ 新型コーヒーマシンを下期5,400台導入
(総数27,000台、200億円の投資)

コーヒーの売上**10%以上のアップ**



店舗オペレーションの強化

● 業務効率化

- 加盟店のオペレーション負荷軽減に向け、既存店投資を実施



ドンキホーテHDとの共同実験

● 共同実験店舗

- 新しいFM創造の足掛かりとしてドンキホーテHDと共同実験の開始（6月に3店舗開店）

<6~8月実績（3店舗平均）>

（日商前年比） **130%** （客数前対比） **110%**

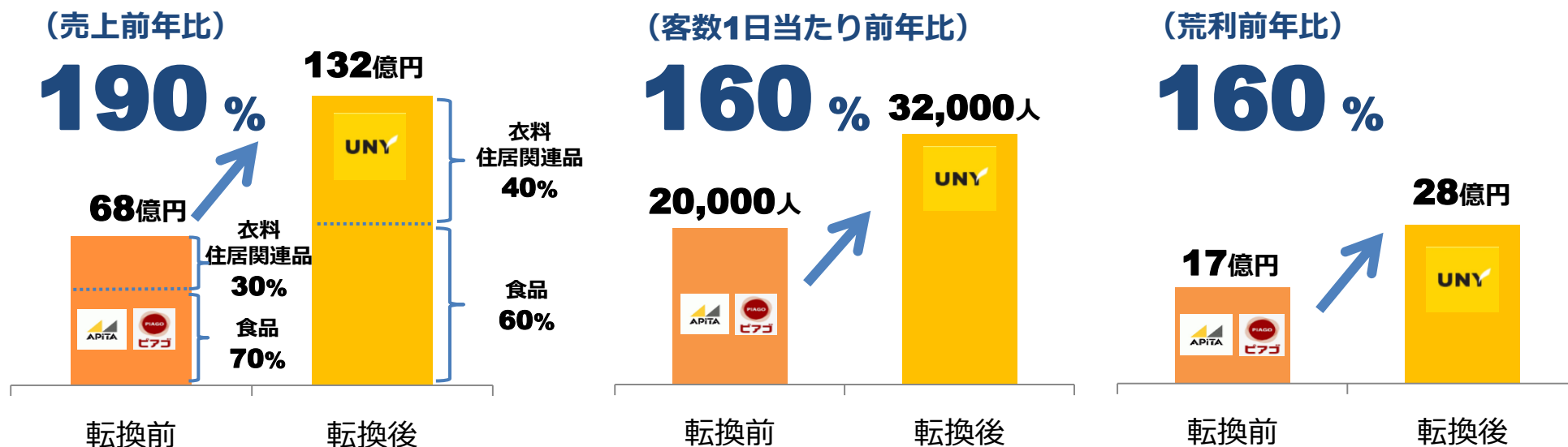


ドンキホーテHDとの取り組み進捗

● MEGAドン・キホーテUNY

- ・ 転換前対比で引き続き高いパフォーマンスで推移
- ・ 「衣料・住居関連品」の売上大幅増、若年層を新たに獲得

<3～8月実績（6店舗合計）>



2019年度20店転換は計画通り進捗

アピタ・ピアゴの取り組み



● 既存店ヘドン・キホーテノウハウの反映

- ・ 店舗に裁量を持たせ『お客様を楽しませる』というコンセプトで**10店舗**で実施
- ・ 来期以降、成功事例を他店舗に拡大

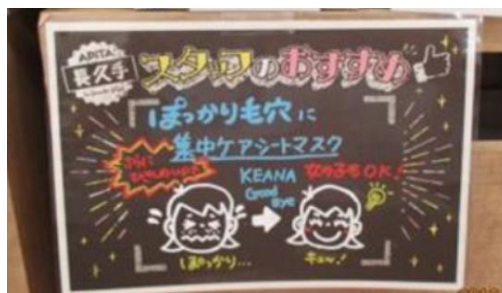
<上期実績（10店舗平均）>

（実験前/前年比）**97%** → （実験後/前年比）**100%超**と前年クリア

<アピタ長久手店>



売り込み商品の拡販（売場内櫓）



スタッフおすすめコト**POP**



地域イベントの開催

<アピタ市原店>



投げ込み什器



投げ込み什器



柱周り什器

(単位：億円、億円未満切り捨て)	2018年度 上期実績			
	CVS事業計	前年同期差	FM（単体）	前年同期差
営業収益	2,741	▲ 195	2,273	▲ 203
事業利益	358	66	304	62
親会社所有者帰属利益	197	73	175	※ 47

※ 前期子会社からの配当金収入による影響（43億円）を除く

		2018年度 上期実績	
		実績	前年同期差
FM (単体) 主要 営業数値	全店日商（千円）	534	▲ 4
	既存前年比（ブランド転換店含む）	101.5%	—
	差益率（カード・チケット除く）	31.1%	0.1%
	新規出店数	55	▲ 99
	B&S出店数	176	60
	ブランド転換数	833	▲ 688
	単純閉店数	565	216

(単位：億円、億円未満切り捨て)	2018年度		上期実績	
	GMS事業計	前年同期差	ユニー（単体）	前年同期差
営業収益	3,708	295	2,923	▲ 96
事業利益	147	17	115	5
親会社所有者帰属利益/四半期利益	80	※ ▲ 14	104	18

※ ユニー株式40%譲渡による前年差影響（▲48億円）

			2018年度	上期実績
			実績	前年同期差
ユニー （単体） 主要 営業数値	既存前年比		101.3%	—
		衣料品	101.9%	—
		住関連	101.5%	—
		食品	101.1%	—
	荒利率		23.3%	0.0%
	期末店舗数		192	▲ 9